

2人に1人が、生涯の中でがんにかかるわが国で、がん患者さんやご家族、がんを経験した人への生活支援は、社会全体で担う必要があります。

NPO法人キャンサーリボنزの目的を達成するために、リボنزハウス憲章に則り、リボنزハウスの普及、拡充、活性化とそのネットワークの構築、発展を図ります。

〈リボنزハウス憲章〉

NPO法人キャンサーリボنزは、がん患者さん、ご家族、周囲の方の、少しでも心地よい実現に向けて、「治療と生活をつなぐ」ための活動を展開し、また、社会全体で支えあう「がんケアのネットワーク」づくりを推進します。

●リボنزハウスは、がん患者さんの治療と生活をつなぐ活動を実践する場所です。

●リボنزハウスでは、Release(緩)、Information(知)、Beauty(美)、Body(動)、Orientation(向)、Nutrition(食)、Sexuality(性)、Home Town(域)、Occupation(働)、Self-realization(己)、Unity(共)、Enjoy(楽)、のテーマに沿って、さまざまなプログラムやサービスを提供します。

●リボنزハウスでは、専門家との共同研究と実践を連動させることにより、信頼性の高いプログラムやサービスを実現します。

●リボنزハウスは、「がん支えあい」を社会に広げるための拠点です。

●リボنزハウスは、地域や立地、施設の特徴にあわせて運営します。